

# SSIS 公式 Facebook 投稿記事

2018/3/11

会員の皆様こんにちは。

今日(3月11日)から『SSIS シリコンバレーツアー2018』に出発します。参加者は9名、論説副委員長の鈴木さんと私(論説委員・井入)を加え、合計11名です。

このツアーでは、IoTをキーワードに、システムからデバイスまで、多面的な観点から大学・企業・ミュージアム等を訪問します。ツアーの様子をこのFacebookに投稿していく予定です。

羽田空港に隣接するホテルの会議室に午後2時に集合しました。まず最初にSSISからツアーの目的・開催主旨を説明しました。

次に自己紹介を行いました。

学校名、研究内容、ツアーへの参加の動機等です。

半導体に関する知識の向上、業界の考え方の理解を深める、国際化時代に通用する人間になる等、大変意欲的な内容でした。

次に、訪問先で聞くであろう話の事前勉強を、鈴木さんが講義して行いました。

最後に、事務連絡と注意事項です。18:30に飛行機に搭乗しました。行ってきます。

2018/3/12



無事バークレイのホテルに到着しました。ロサンゼルスでの乗り継ぎがやっかいで長旅でしたが、全員元気です。

明日は午前カリフォルニア大学バークレイ校に行き、IoTに関する研究について勉強します。午後はサンフランシスコに行きます。

朝ホテルから約10分歩きカリフォルニア大学バークレイ校に着き、広い落ち着いた雰囲気のカンパスを散策しました。

その後、SWARM Labを訪問し、迎えて頂いた井上様から、IoT時代を捉える考え方や研究活動の進め方に加えて、米国著名人のスピーチ紹介も含めたご示唆と激励のお話をして頂きました。

午後は BART（地下鉄）に乗り、サンフランシスコにある Autodesk 社の展示室を訪問しました。

同社は CAD ツール・ソフトウェアの会社ですが、それを活用した顧客による製作物を展示しています。対象は、自動車、義手、建築物などに加え、工芸品、映画（アバター）にも及んでいます。

撮影した画像から 3D のデザインが製作されます。3D CAD と 3D 加工のすごさ（社会へのインパクト）を実感できます。

2018/3/13



午前には SYNOPSYS 社を訪問しました。

来客スペースに特許取得を記載したプレートを多数掲示しアピールしています。ソフトウェア事業でのパテントがどのようなものか、要勉強と思えます。

ミーティングの前半では、創業以来の EDA ソフトだけでなく主に M&A により追加した多数の分野で高い競争力を有し、さらに IoT 時代に向けた IP を開発している状況が説明されました。後半では、Ph.D. や Master が多い同社の社員のキャリア形成（専門職とマネージメント職）の

システムが説明され、参加者から多くの質問が出ました。

午後の前半に谷上秀行氏宅を訪問しました。

サンドイッチと飲み物を提供頂き、氏のご経歴と成功の理由についてお話を頂き、ご自宅の見学もさせて頂きました。

ご自宅の雰囲気の中でのお話には強い説得力を感じられます。

午後の後半にはスタンフォード大学の Bookstore に行きました。

今日から Sunnyvale で宿泊で、ホテル近くのショッピングサイトで夕食です。

2018/3/14

午前スタンフォード大学 Department of Electrical Engineering の Saraswat 教授と西名誉教授を訪問しました。

Saraswat 教授からはシリコンバレーがどのように発展し現在どのような経済的地位を占めているか、またスタンフォード大学が果たしている役割（起業促進等）について、非常に詳しい説明を頂きました。

質問に答えて同大学の学生の生活と勉強の様子（日本との違いを含む）についてもお話しいただきました。

ご都合により Saraswat 教授が退席された後は、西名誉教授と参加者との間で多くの質疑が行われました。

シリコンバレーについての解説は日本でも多く行われていますが、その地での当事者からのレベルの高いお話には強いインパクトが感じられます。

午後は Computer History Museum を訪問しました。

最初に 1960 年代の IBM 社のコンピュータを動かすデモ（パンチカード作成、ラインプリンター印刷）を行って頂きました。

そのほか、真空管を使用した ENIAC、DEC 社等のミニコン、初期の Apple コンピュータ等、歴史に名を刻んだ機種や、時期を得ずビジネスとして成功しなかった機種等が、多く展示されています。

それぞれが当時としては最先端でした。今の最先端も 10 年後は Museum で「昔はこうだった」となるのでしょうか。

10 年後 20 年後はどうなっているかと思いが馳せられます。

2018/3/15



午前 LAM Research 社を訪問しました。エッチング装置で創業し、その後 M&A にて CVD 装置と Wet 装置にも事業拡大し、1 兆円企業に成長しました。

SYNOPTIS 社と同様に、ロビー近くに特許を示すプレートを掲示してありました。

顧客へのアピールになるであろうし、取得者にとっても誇らしいことであろうと思われます。

マーケティングのトップの人がカナダ出身で、日本の大学で学んだとのことで、流暢な日本語でスピーチして頂きました。

Deposition、Etch、Clean (Wet) の装置について、学生向きの内容の説明をして頂きました。

近年は、3D-NANDのような非常に複雑な形状の加工を行うことが主な目標であったようで、Deposition では Atomic Layer Deposition が重要な役割を果たしているようです。

新しいメモリに向けての開発も怠りなさそうです。どのような技術になるのでしょうか？

ミーティングの後半では、キャリア形成についての説明を頂きました。大学から新採用の社員には、職場に馴染めるような丁寧な活動を施しているとのことでした。

キャリア形成のために勉強したいと思えば、その機会に不自由がなさそうです。

午後は Intel Museum を訪問しました。

半導体に詳しくない人に分かりやすく説明するための工夫が随所に見られました。

2018/3/16



Toshiba Memory America 社を訪問しました。

IoT の重要構成要素であるデータセンター向けのソリッドステートドライブ（フラッシュメモリを用いた記憶装置、SSD）の北米顧客向けカスタマイズ拠点です。

シリコンバレーから少し離れた地にありますが、ハイテク関係の会社が集積している地域で、優秀なリソースを獲得できるとのことです。

SSD には、フラッシュメモリだけでなく、他のメモリ、コントローラ、ファームウェア等が組み込まれます。

顧客（IT 業界の巨人たち）からの多様な要求に迅速に対応するため、東芝メモリ社が現地（米国）に拠点を設けています。

ミーティングの後でサイトツアーを提供頂き理

解を深めることができました。

データセンター向け SSD は今後需要の大きな伸びが期待されるようで、Toshiba Memory America 社の役割はますます重要になるように感じられました。

午後は Toshiba Memory America 社の場所をお借りして、今回のツアーのラップアップミーティングを行いました。

主なテーマは、シリコンバレーなるシステムとそこにいる人たちの思考と行動をどう理解したか、およびそれを今後の各自の思考と行動にどう生かすかです。

参加者から積極的な発言が相次ぎました。レポートが楽しみです。

2018/3/18

3月18日午後に無事帰国し、今回のツアーを終了しました。

以上